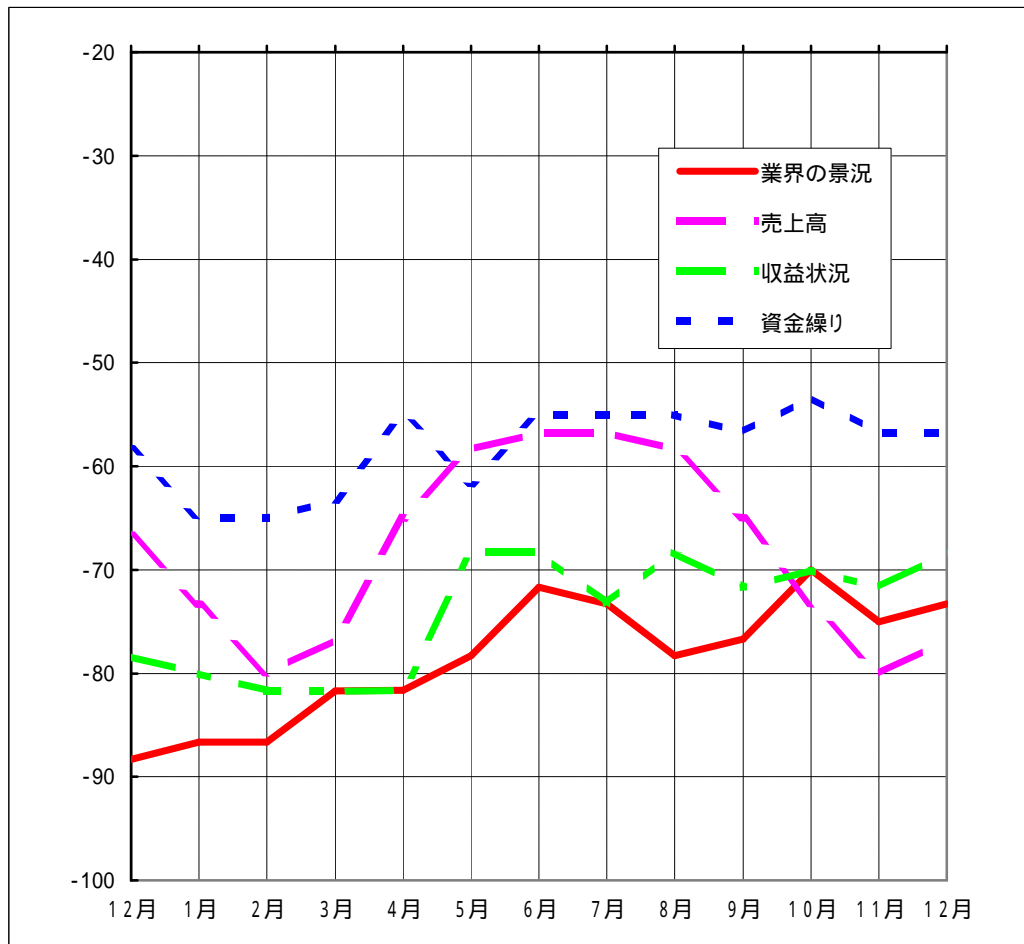


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成20年12月～平成21年12月

単位:ポイント



	H20	H21	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業界の景況			-88.3	-86.7	-86.7	-81.7	-81.7	-78.3	-71.7	-73.3	-78.3	-76.7	-70.0	-75.0	-73.3
売上高			-66.7	-73.3	-80.0	-76.7	-65.0	-58.3	-56.7	-56.7	-58.3	-65.0	-73.3	-80.0	-76.7
収益状況			-78.3	-80.0	-81.7	-81.7	-81.7	-68.3	-68.3	-73.3	-68.3	-71.7	-70.0	-71.7	-68.3
資金繰り			-58.3	-65.0	-65.0	-63.3	-55.0	-61.7	-55.0	-55.0	-55.0	-56.7	-53.3	-56.7	-56.7

12月の各項目DI値は前年同月比でみると、「業界の景況」DI値で15ポイント、「収益状況」DI値で10ポイント、「資金繰り」DI値で1.6ポイントそれぞれ改善したが、「売上高」DI値でマイナス10ポイント悪化した。なお、前月比でみると、「資金繰り」DI値が同値である他は、全項目で改善したものの若干値にとどまり、依然として底を這うような状態が続いている。

組合の特記事項からは、年末商戦の取組み等により一部で売上、受注の増加が見られたが、その水準は低く、また、建設関連業界で大きな出荷量の落ち込みが続くなど、総じて改善への兆しがみられない状況である。内需の低迷が続く依然として先行きの見通しが見えないことなどから、「二番底」を心配する声もあった。国や地方自治体の経済対策に期待する声も聞かれ、早急かつ実効がある景気回復策が望まれる。